



ごあいさつ

皆さま方には、平素より格別のご支援、ご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

本年も、当金庫の業務内容や活動状況などにつきましてご理解を深めていただくため、「半田信用金庫2024ディスクロージャー誌」を作成いたしましたので、ご高覧賜りますようお願いいたします。

令和5年度の経済状況につきましては、コロナ禍で控えていた個人消費の緩やかな増加と、円安等の要因による大企業を中心とした収益改善を背景とした設備投資の増加により、回復基調が継続しました。

先行きにつきましては、日本経済は当面、海外経済の回復ペースの鈍化により下押し圧力は受けるものの、緩やかな回復が続くものと思われます。ただし、諸物価高騰が継続する中、価格転嫁が進まない可能性もあり、地域の事業者における企業収益の回復は、引き続き予断を許さない状況であると認識しております。

令和3年度よりスタートした中期経営計画『収益力と営業力強化に向けた「はんしん3か年計画」』は、令和5年度が最終年度となり、3年間の集大成とすべく、「お客様第一主義」を基本に、業績の向上や業務の改善に取り組み、一層の収益力および営業力の強化を図りました。

令和6年度から新しい中期経営計画である「はんしん3か年計画 ～地域とともに新たな時代へ～」がスタートしました。この計画のコンセプトは、地域金融機関として最も重要と考える「地域に必要とされる金融機関」であることをベースとして、お客様のことを真剣に考える姿勢である「お客様第一主義」の徹底と、地域への継続的な金融サービスの提供・向上を図るための「持続的な収益力向上」の実現であります。これらの達成に向けて「収益力の強化」、「顧客基盤の強化」および「組織・人材力の強化」を基本戦略として、様々な施策を進めてまいります。

新しい中期経営計画を着実に進めることにより、今まで以上に地域に愛され、支持され、頼りになる「地域に必要とされる金融機関」であり続けるため、役職員一同一層の努力を重ねてまいります。

今後とも変わらぬご支援とご愛顧を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

令和6年7月

理事長 古田 明典